

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 ('15DH1(TCF9564W)・DH2(TCF9574W)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。
この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)
特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タイ 1 プ) 1	(タイ 2 プ) 2	正 規 品	(タイ 1 プ) 1	(タイ 2 プ) 2
(タイ 3 プ) 3	(タイ 4 プ) 4	(タイ 5 プ) 5	(タイ 3 プ) 3	(タイ 4 プ) 4	(タイ 5 プ) 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

＜＜本体側の設定方法＞＞

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

◆途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 1

本体操作部の **運転入/切** を10秒以上押し続ける
 ⇒10秒後に全てのランプが**5秒間点灯**します。

本体表示部

＜＜下図は例です＞＞

緑色点灯 運転 便座 節電	橙色点灯 運転 便座 節電	ランプが全点灯から一部点灯または点滅したら最初からやり直してください。
------------------------	------------------------	-------------------------------------

◆DH2はきれいサインも点灯します

運転 便座 節電 ノズル きれい	運転 便座 節電 ノズル きれい	この間5秒
------------------------------	------------------------------	-------

手順 2

運転入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、
すぐに **ビデ入/切** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

◆途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 3

運転入/切 を押したまま、おしり入/切 を押す。
 おしり入/切 を押す度に標準→特1→特2…特9→標準
 と設定が切り替わります。

本体表示部

●…緑点灯 ▲…橙点灯 ×…消灯

設定コード*	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●
便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×
節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲

手順 4

◆手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

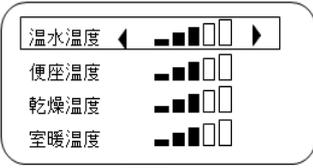
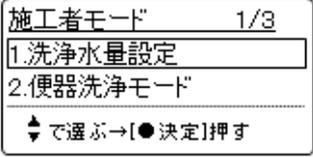
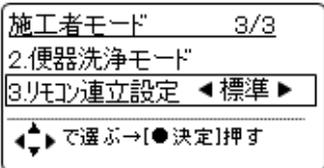
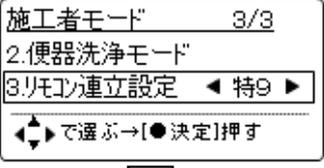
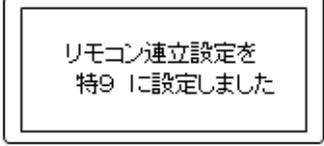
運転入/切 から手を離れた時点で設定したコードになる。

手順 5

ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)	
1	<p>「リモコン表側」</p>  <p>「リモコン裏側:液晶部」</p>  <p>↓</p> 	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②リモコン表側の「止」スイッチを約10秒押すと、裏側の液晶画面が【施工者モード】に切り替わります。</p>
2	<p>「リモコン裏側:液晶部」</p>  <p>↓</p>  <p>↓</p> 	<p>①【施工者モード】の【3.リモコン連立設定】へ液晶画面横の▼ボタンでカーソルを合わせる。</p> <p>②【3.リモコン連立設定】の横に 標準 から画面横の▶ボタンで<特1・特2…特14>と表示が切替わるので設定したい状態の所に合わせる。(例:特9)</p> <p>③液晶画面横の●ボタンを押すと【リモコン連立設定を特9に設定しました】と表示されると設定完了。</p> <p>④液晶画面横の■メニュー/戻るボタンを押して最初の画面に戻る。</p> <p>《ご注意》 特殊設定は標準～特9まで設定を行ってください。 リモコン側は標準～特14までの設定が可能ですが、 本体側は特9までしか受け付けません。</p>

※ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。